

弊社ReCI【レックアイ】は8月25日(月)に週刊住宅新聞に掲載されました。
マンション管理システム(CoMS)開発

(5) 2008年(平成20年)8月25日

週刊住宅

マンション管業務を効率化
レックアイ
支援システム「CoMS」開発

不動産業務支援システム開発のレックアイ(東京都豊島区、鈴木徳之社長)はマンション管理業務総合支援システム「CoMS(コムス)」を開

発した。9月から本格的にマンション管理会社向けに発売する。
「CoMS」は、マンション管理業務を全面的に見直し会社全体として業務フローを最適化して業務の確実な執行を促進するシステム。
メインシステムの「CoMS-D」と5つのサブシステムで構成されている。「D」は、基本データの管理・文書管理を統轄。マンションの基本情報、管理員室、エントランスドア、行政情報、緊急対応情報を管理する。また、管理組合役員の履歴、管理規約や管理会社と組合の管理委託契約書

なども保存しておく。5つのサブシステムでは、定期業務の執行支援(CoMS-S)、事務管理(J)、販売管理(H)、計画修繕(K)、コミュニケーション(C)を統轄。「D」に登録された基本情報から各サブシステムに情報を受け渡し、マンション管理の担当者とバックオフィスのスタッフが管理委託契約に定められた作業をもれなく実施できる体制を整える。「システム化されていない場合、業務に漏れが生じるなど人為的ミスが発生しやすい。それを防ぐことで質の高い管理業務を提供できる」(鈴木社長)。また、マンション管理組合向けの会計ソフトにも連動している。管理組合の役員が交代した際にも、引き継ぎ資料を即座に作成することができると、管理組合のレベルアップ・育成にも役立つ。
大京出身の鈴木社長は、大京管理(現・大京アステーション)の業務管理見直しで、成果を上げるなどの実績を持つ。
導入価格は、100管理組合程度の管理会社がDとSをパッケージ購入した場合は、約600万円から。導入期間はシステムの設定や使い方の研修を含めておおよそ3〜6カ月を想定している。販売形態もパッケージ、レンタル、ASPと3タイプが選択できる。